

科目名	通奏低音奏法 I				授業期間	通 年
担当教員	徳岡めぐみ				科目 No.	MKY1191 GEN2291
受講対象	チェンバロ・オルガン 1年 作曲「映画・放送音楽コース」「ポピュラー・インストゥルメンツコース」「ソングライティングコース」を除く全専攻 2～4年				単位数	2単位
目 標 ／ 概 要	<p>目標：17～18世紀の通奏低音理論を踏まえて、室内楽演奏の基礎を習得する。 基礎的な数字付き低音についての講義とパイプオルガンで演習を行うことにより、和声進行の理解を深め、実際に合奏をするための力を養うことができる。また、短期間ではあるがオルガン奏法を学ぶこともできる。</p> <p>概要：バロック作品における通奏低音部の重要性を理解し、合奏曲だけでなく独奏曲にも生かすことができるよう指導する。</p>					
授 業 計 画	春 学 期					
	1	バロック時代に広く行われていた通奏低音について歴史的観点から学習する。				
	2	三和音についての演習（基礎）				
	3	三和音についての演習（応用）				
	4	六の和音（基礎）				
	5	六の和音（応用）				
	6	六の和音（第2～5回までの確認）				
	7	三四の和音				
	8	四六の和音（基礎）				
	9	四六の和音（応用）				
	10	五六の和音（基礎）				
	11	五六の和音（応用）				
	12	二の和音（基礎）				
	13	二の和音（応用）				
	14	六の和音の掛留（7-6）				
	15	まとめ				
	秋 学 期					
	1	春学期の復習を行う。				
	2	七の和音（基礎）				
	3	七の和音（応用）				
	4	七の和音（合奏のスタイルで実践）				
	5	オクターブの掛留（9-8）				
	6	二重掛留（基礎）				
	7	二重掛留（応用）				
	8	これまで学習した和音を練習曲で実践できるようにする。（1）コラールから選曲				
	9	これまで学習した和音を練習曲で実践できるようにする。（2）選曲した作品の実践と確認				
	10	これまで学習した和音を練習曲で実践できるようにする。（3）アンサンブル作品から選曲				
	11	これまで学習した和音を練習曲で実践できるようにする。（4）選曲した作品の実践と確認				
	12	実技による試験の準備を行う。（1）数字と和音の確認				
	13	実技による試験の準備を行う。（2）演奏上における表現、奏法の探求				
14	実技による試験及び解説					
15	まとめ					
準備学習の内容	数字の読み方に慣れるために、毎回学習する内容を必ず復習（練習）してこよう。					
履修上の注意						
評価方法	試 験	課題(レポート含)	発 表	平常点	その他	合 計
	○			○		
	補 足					
教材等	教科書は使用しない。その都度プリントを配付する。					